

photopos 25

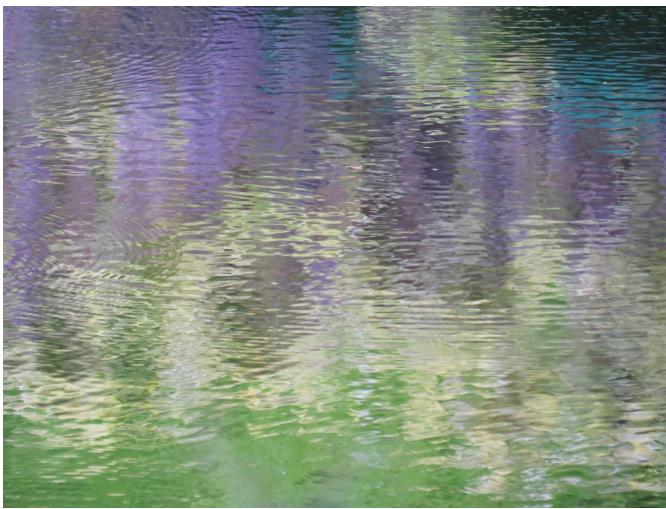
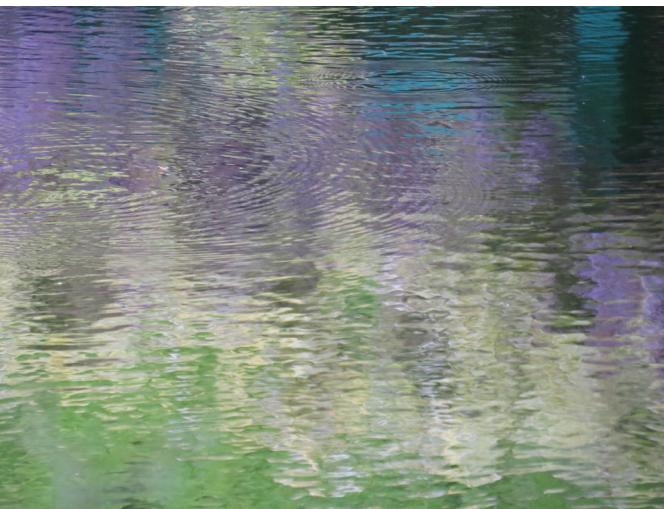
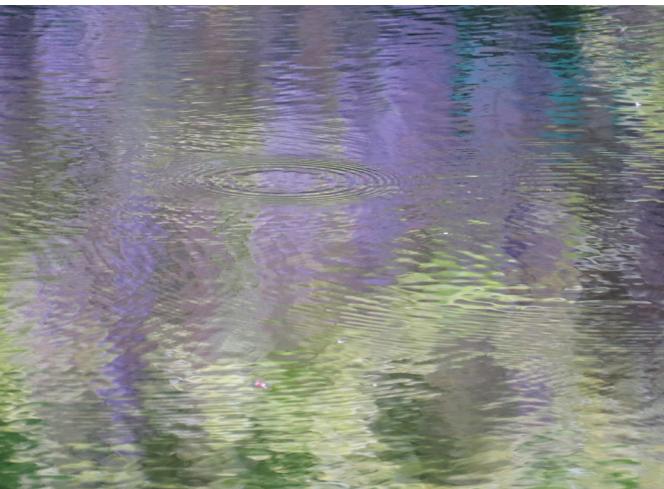
2016.4.29 ~ 2016.5.23

【神秘学ポエジー～風遊戯 第50集】

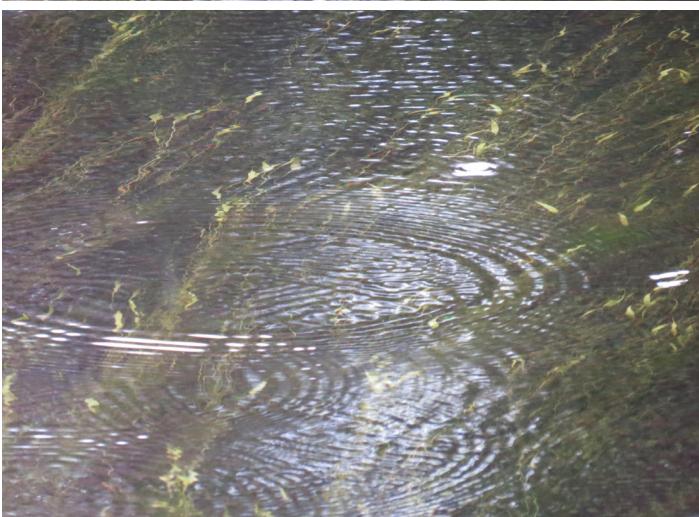
photo ヴァージョン

photopos601-625

神秘学遊戯団



花 色めいてあれ
心 華やいであれ
水 移ろいてあれ
風 軽やかであれ
我 時めいてあれ



ゆらめきは
記憶の影絵
はてなきは
夢の遠近法

時の間から
とめどなく
浮かびくる
憧れの心よ

ときめきは
心の波間へ
きらめきは
光の彼方へ



怒りは
力になる
苦しみは
美しさになる
悲しみは
慈しみになる

羨みさえ
天へと向かう羽となる
妬みさえ
自らを省みる涙となる
過ちさえ
矛盾を超えるむすびとなる



秘密は
秘密ではない

顕わになるものは
すでにそこにあったのだ

沈黙は
沈黙ではない

言葉となったとしても
すべては示されていたのだ

見ることは
見ることではない

見えなかったものは
気づかなかっただけなのだ

知ることは
知ることではない

知らなかったことは
思い出せなかっただけなのだ

愛することは
愛することではない

愛さなかったことは
祈れなかっただけなのだ



ゆれているのです
変わろうとする心
変わりたくない心

夢みているのです
はるか昔のわたし
やがて来るわたし

試しているのです
限りあるという時
限りないという時

笑っているのです
光のときを過ごし
風とともにゆれて

*高知市春野町仁ノ（仁淀川河口近く）にて



明日には
消えてしまう
私という足跡

消えてしまう日は
すぐにやってくるだろう
けれどそれを
悲しむことはいらない



それは
特別な場所に
残るのだから
永遠という場所に



見ているのは
だれだ

見られているのは
だれだ

視線の
シーソーゲームは
滑稽なまでに息苦しい

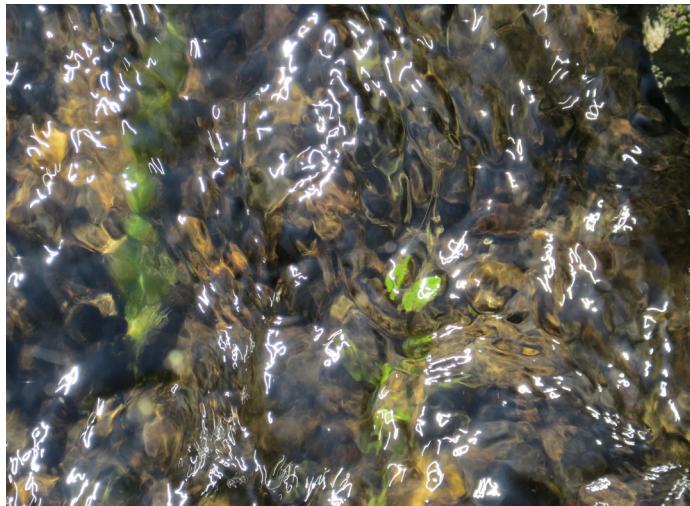
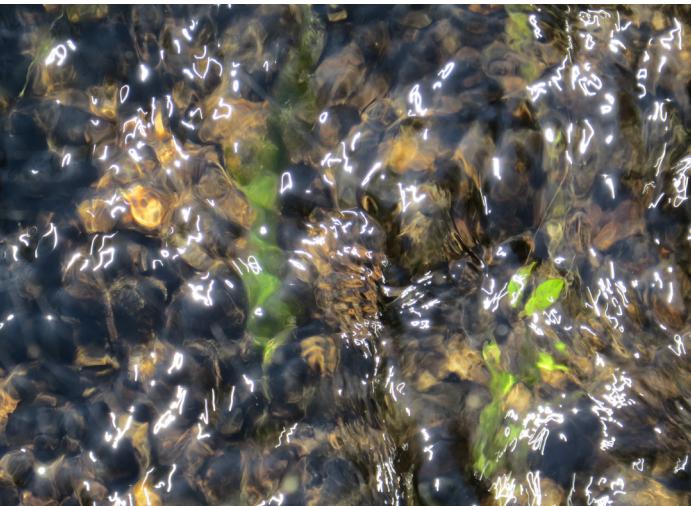
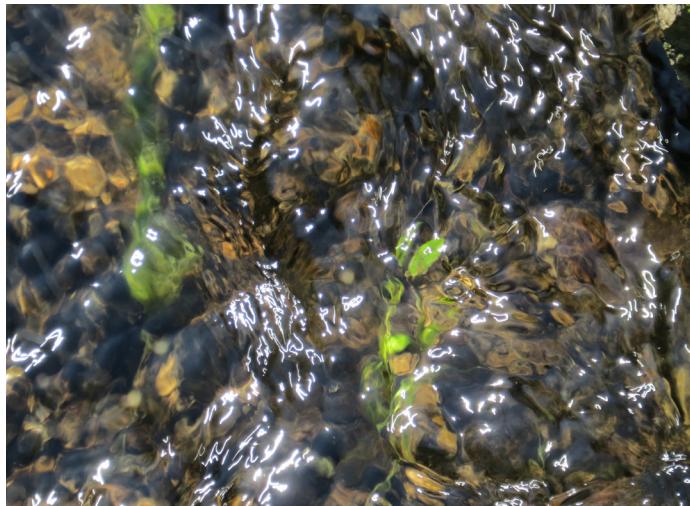
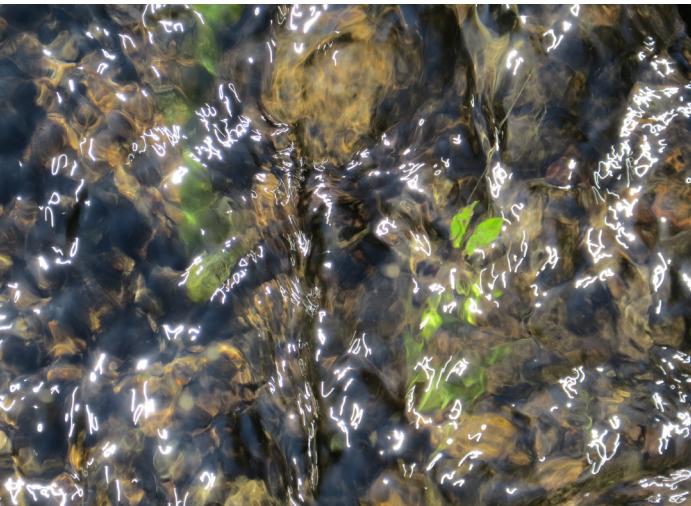
意識の
回し車は
いつも堂々巡り

見ているものが
見られているものと
むすびあうとき

巖となり
苔がむし
やがて消えざるときまで
続くのだろうか

photopos-608

2016.5.6



それは
水と光の言葉

その言葉を
読みとるために
遠い旅はいらない

いま
ここで
ともに
踊り戯れる
それだけでいい

それは
天と地の交わす
秘密の言葉

いま
ここで
ともに
歌えばいいのだ

*高知県日高村・めだか池にて



風とともに
水辺を歩く

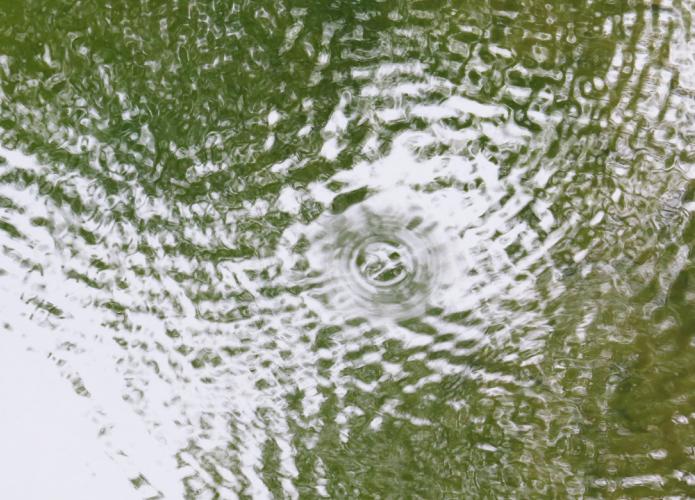


空が流れるのか
水が流れるのか

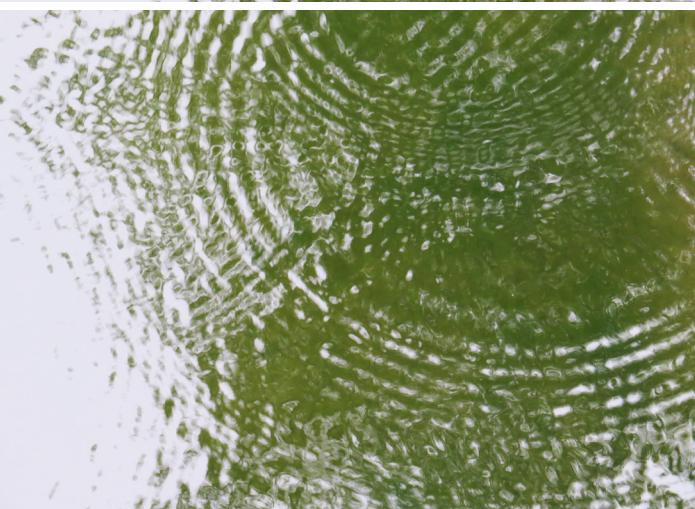
変わりゆくものを
変わりゆくままに

時が流れるのか
心が流れるのか

風とともに
口笛ふいて



ひとつの思い ひろがり
互いに重なり 新たな思いを生み



ひとつの言葉 ひろがり
互いに重なり 新たな言葉を生み

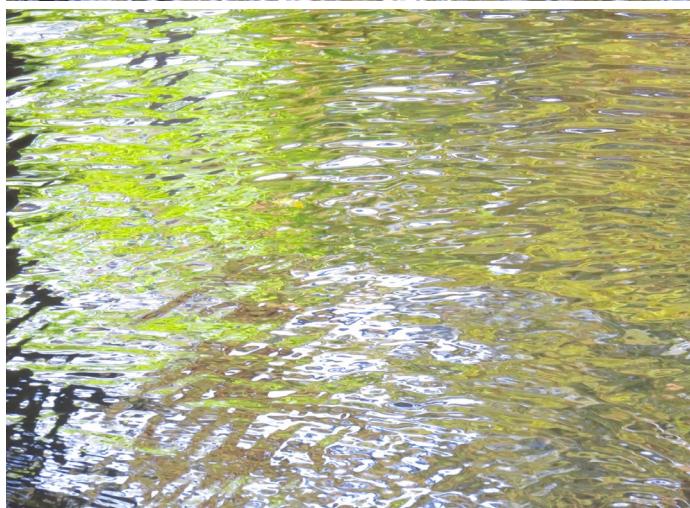
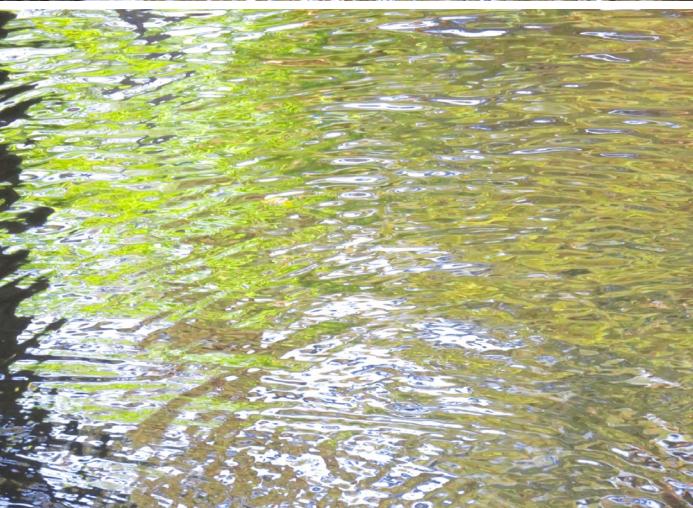
ひとつの喜び ひろがり
互いに重なり 新たな喜びを生み

*高知県北川村「モネの庭」マルモッタンにて



叢雲の
剣のごとき
風立ちて
水面騒ぐ

それと知れず
訪れるものあり



何者か
気配して
光の翅が
燐爛する

見ているものは
見えているか

私という
合わせ鏡の
無限のなかで

photopos-612

2016.5.10



夕暮れ時は
ヤヌスの面

おわりと
はじまりの
境に顯れる
時の魔術

光沈むとき
内なる光顯れ
沈黙のうちに
言葉は訪れる

*高知県日高村・めだか池にて



右を向けといわれて

右を向く者あり

左を向く者あり

上を向く者あり

下を向く者あり

知らぬふりする者あり

すべての方向を見ながらも

だれも見ぬほうを

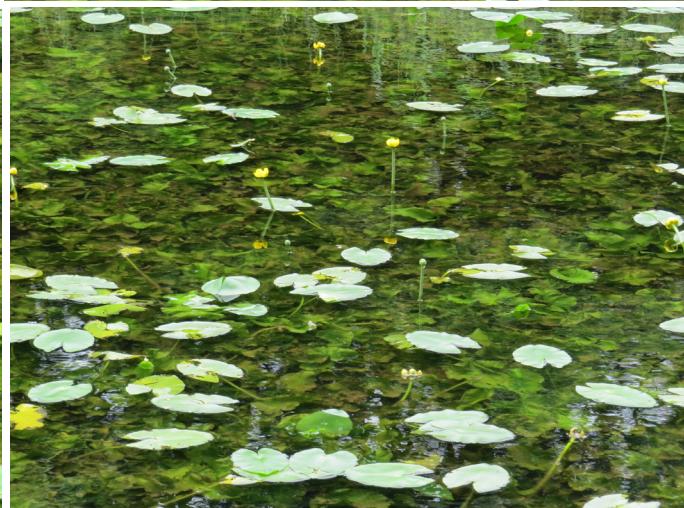
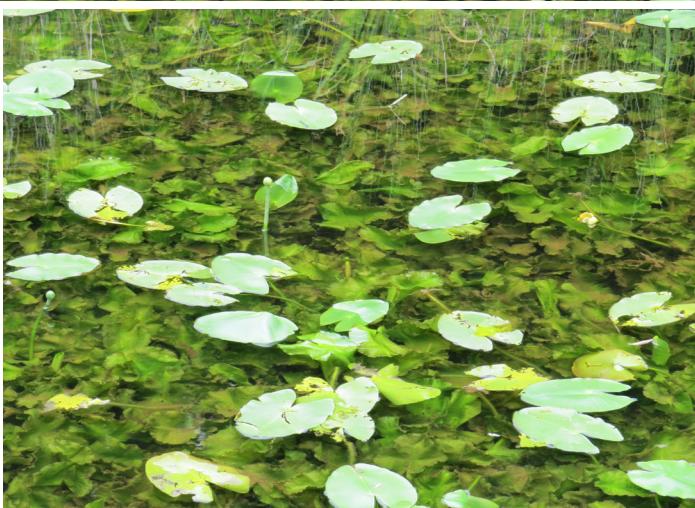
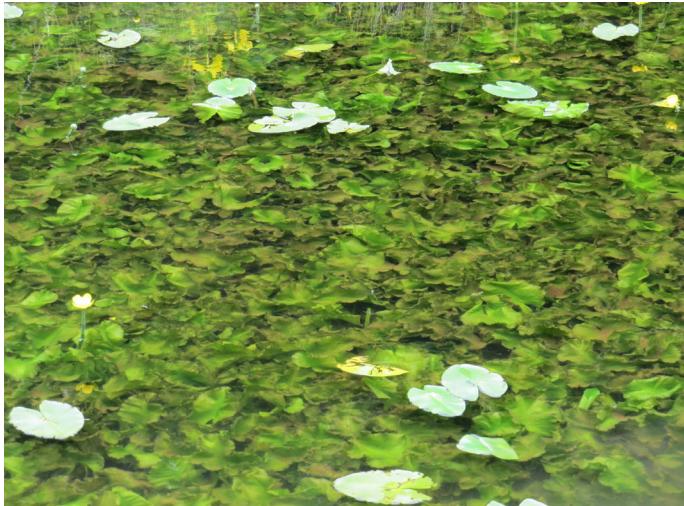
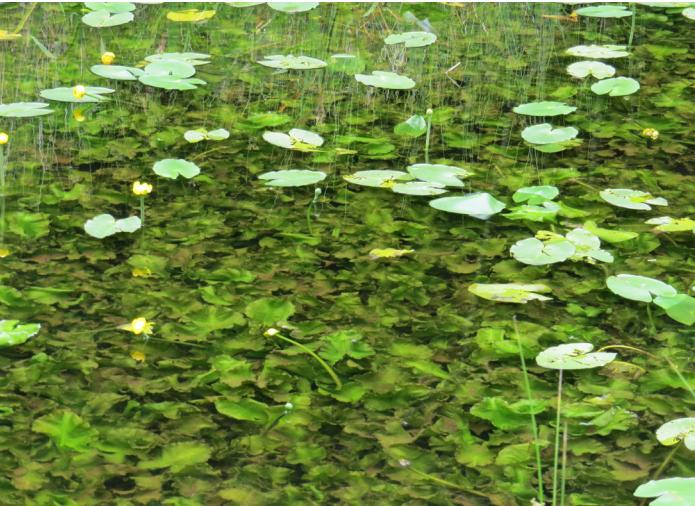
探すことはできないか

だれも見ようとしないものを

見ることはできないか

自由へと向かう道の途上で

*高知県日高村・めだか池にて



泥のなかに
深く根をもち
静かに待つ

そうすれば
たしかに
育つことができる

根を張り
茎を伸ばし
光のほうへ

水とともに
風にゆれ
歌いながら



白のなかの白
闇のなかの闇

水のなかの水
光のなかの光

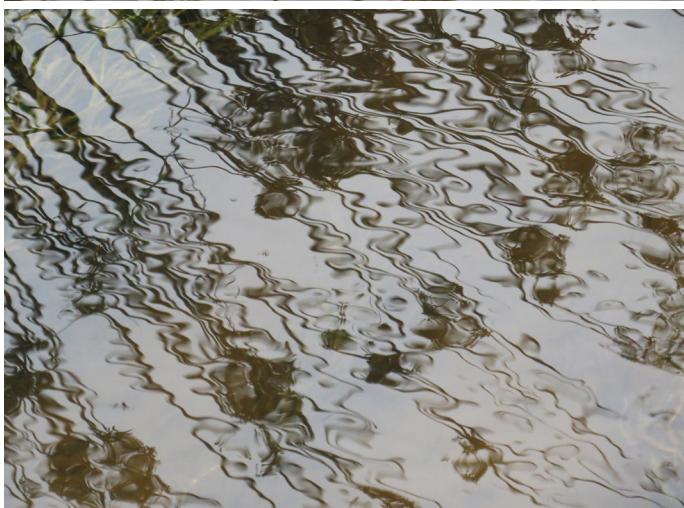
にもまして

私のなかの私に
気づくのはむずかしい

私はいまここで
何をしているのだろう
私という深い謎のままに



*高知県四万十市・トンボ自然公園にて



うつし世の
夢のあわいに
ゆらめいて
水のおもての
悪戯者（いたずらもの）は
今という
時の迷路を
遊ぶ者たち

*高知県四万十市・トンボ自然公園にて



静かにひろがれ
はるかな思いよ

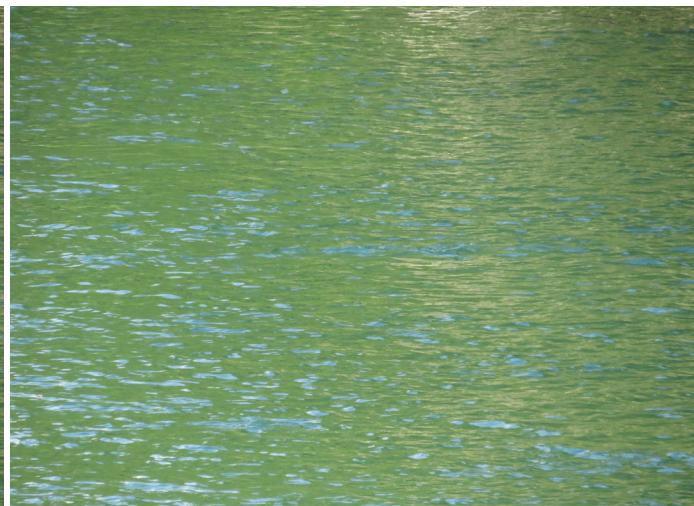
彼方より訪れる
懐かしき者の声

過ぎゆくものは
過ぎゆくままに

たゆたうものは
たゆたうままに

来たるべき時を
ただ待ちながら

*高知県北川村「モネの庭・マルモッタン」にて



しないこと

しないでいること

することは

世界を小さくしてしまうから

することは

私を小さくしてしまうから

忘れたものは

忘れたままに

あらゆる今を

湛えている水とともに

しないこと

しないでいること

訪れるものは

訪れるままに



うつろいを彩る色の
明日の姿を見せて

変わりゆく音色を奏でる
明日の心を聴かせて

きまぐれな天使が
誘惑するように
時の魔術はゆらゆら
私を迷わせ続ける

*高知県北川村「モネの庭・マルモッタン」にて



どうして
などとは
聞かないでほしい

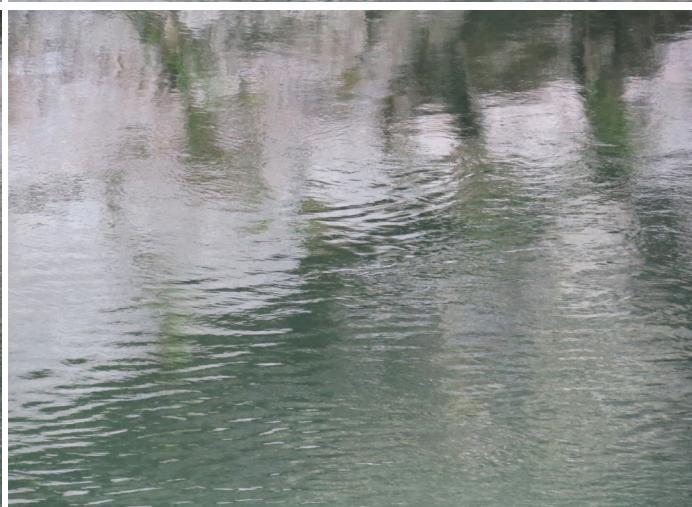
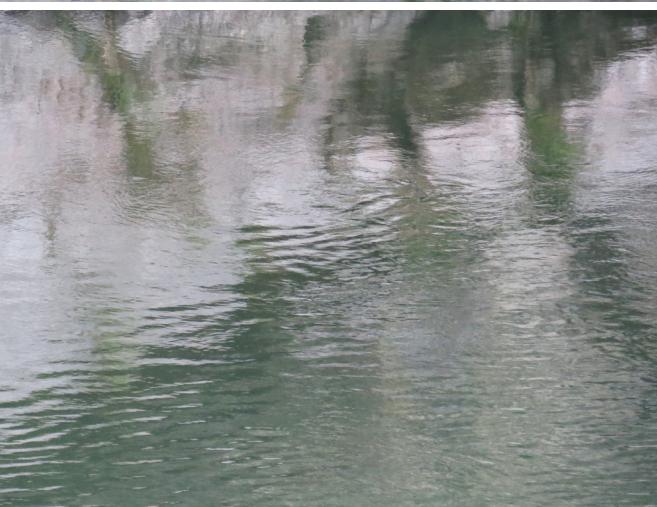
それはただ
そこにあるのだ
否応なく
そこにあるのだ

私がただ
ここにいるように
否応なく
私をしているように

時が見守っているのだ
そう言ってみることも
できるかもしれない

るべきかどうか
そんなことはわからないが
あるものは
そこにあるのだ
否応なく
そこにあるのだ





幕は
開かれるためにあるのか
隠すためにあるのか
隠されなければならず
開かれなければならない

鏡は
映すためにあるのか
欺くためにあるのか
欺かなければならず
映さなければならない

言葉は
語るためにあるのか
沈黙するためにあるのか
沈黙しなければならず
語らなければならない

愛は
ふたりのためにあるのか
ひとりのためにあるのか
ひとりでなければならず
ふたりでなければならぬ

*高知県いの町（仁淀川上流）にて



私の羽は
私をどこへ
連れてゆくのだろう

私の光は
私をどこへ
連れてゆくのだろう

私の心は
私をどこへ
連れてゆくのだろう

私の鏡は
私をどこへ
連れてゆくのだろう



*高知県いの町（仁淀川上流）にて



明日のことは見えないけれど
今日が見えてるわけじゃない
昨日も見えてたわけじゃない

そんなときも

今日の真実が見つかるならば
明日の真実も見つかるだろう
昨日の真実も見つかるだろう

そんなときは

昨日の悲しみ苦しみを超えて
今日の悲しみ苦しみを超えて
明日の喜びへ向かえるはずさ

*高知県いの町（仁淀川上流）にて



流されぬもの

流されゆくもの



浮かびくるもの

沈みゆくもの

光を受けるもの

闇へと逃れるもの

心安らぐもの

心乱れるもの

すべては明滅しながら

永遠と無常を演じています

photopos-625

2016.5.23



ああ心の謎は
不思議の絵模様を描くよ
それがなにを描いているか
読み方を学ぶために
長い長い時を経るよ

ああ心の門を
不意に叩くものがあるよ
なにが訪れたのか
気づくために
長い長い時を経るよ

ああ心は流れ
一時も留まることがないよ
なにが流れているのかいいのか
無常と永遠を知るために
長い長い時を経るよ

*高知県南国市・物部川河口にて